

9月18日神戸新聞朝刊に本校が主幹校となって取り組んでいる防災ジュニアリーダー育成に関する話題が取り上げられました。



阪神地区学習会での一般の方々への防災に関する興味付けの取組についての記事や県教育委員会が企画した東日本大震災支援事業の取組にある大川小学校での研修の写真が掲載されていました。各地区の学習会は「校長室から」で紹介させていただいた通りですが、記事では防災ジュニアリーダー育成にかかる2012年からの取組にも触れていただきました。このような機会をいただき、南海トラフ巨大地震に対する備えを少しずつでも広めていけるようにすると同時に、災害が起こったときにその地域の方々を安心させ、復興に向かうお手伝いができる人を増やしていくことが今後の目標となりますので、今の活動をしっかりと伝え、さらに深化させて行きたいと思っています。各地区、各校で考えたアクションプラン(一歩動き出すためにジュニアリーダーとしてどのように活動したか)は11月12日に報告会がありますので、その報告を聞き、お知らせ

したいと思えます。

さて、8月末に職員研修で不審者対応を行い、その際に不審者をまず校内に入れないことが大事であるとのことから通用門並びに校舎への出入り口を閉



めさせていただくようにしました。職員の出勤時と生徒の登下校時には開放していますが、8時45分以降放課後になる時間帯までは正門、通用門ともに閉めています。このことで保護者並びに業者の方々にはご不便をおかけすることになりますが、危機管理上、県からの指導もあり、ご協力をお願いするものです。現在は上記の時間帯としておりますが、防犯上、部活動等課外活動の時間帯までを安全確保のために閉める場合もあるかと思えます。ご理解とご協力をお願いいたします。また、以前より、通用門から出る際に歩道、車道の段差が大きく車の前部を擦ることが多くありました。道路を管理します神戸市に確認したところ、道路の形状は変えられず、雨水等の流れる溝でもあることから常時傾斜を緩やかにするものも置くことができず、いろいろと考えた結果、板を車が通過する際に置いていただくことで解決できたようです。歩道の縁石に沿ってタイヤの幅に板2枚を置いていただくとスムーズに出ることができるようです。なお、使用された後は敷地内の植え込み部分に置いていただくことが必要となります。多くの学校は、正門から車で入れるようになっており、正門の開け閉め等にもさほど時間はかからないかと思えますが、本校の立地上、通用門が死角となっており、段差もあるということで多くの方々にご不便をおかけすることになりますが、よろしく願いいたします。また、通用門を利用する自転車通学の生徒には、歩行者との出会い頭による事故が想定されますので、通用門を通過する際にはスピードを落とし安全を確認するよう指導していきます。ご理解とご協力をお願いします。

9月も下旬となり、体育祭も近づいて参りました。小中学校ではコロナやインフルエンザの流行も話題になっています。夏の疲れも出やすいこの時期になかなか涼しくならず、連日30度を超える日が続いています。皆さんの体調はいかがですか？この時期から夏の疲れが出やすくなりますので、十分に体調管理に気をつけて体育祭に備えましょう。準備も最終段階に入っていますが、打ち合わせ等をしっかりと安全安心に楽しく盛り上がる体育祭にしたいものです。初の本校グラウンド開催ということでいろいろと課題は出てくると思いますが、今回がスタートですので、何とか成功させたいと思っています。力を合わせて頑張りましょう。

2年生の面談も3組までが終了しました。3年生は今、進路実現の真っ只中。面接練習や小論文練習など現実の試験に向けた取り組みを進めているところだと思います。2年生でも進むべき方向を決めている人は大丈夫だと思いますが、大半の生徒は何がしたいか、何をしようか十分に考えられていない感じです。さらに「自分の長所は」との質問に答えられない人が多く、もっと自信を持てるようになって欲しいと思いました。「自分の良いところを生かした職業をイメージしてみよう」という話から一歩踏み出して調べることを勧めています。一人一人に声をかけるとそのときは考えてもらえると思うので、面談という形式を取っていますが、舞子高校の生徒はかなり余力を残していると思うので今後もそのような形で自分の力をうまく発揮することを伝えていきます。